エコアクション２１

環境経営レポート

令和０５年１０月～令和０６年０９月

令和０６年１２月２７日作成

株式会社阿部工務店

ABE Construction

環境レポート　　目次

１．　環境経営方針　　1頁

２．　組織概要　　2頁

３．　環境目標と実績　　３、4頁

４．　活動内容と結果、評価　　５頁

（１）二酸化炭素排出量の削減

（２）廃棄物排出量の削減

（３）水使用量の削減

（４）化学物質使用量の適正管理

（５）グリーン購入の推進

（６）環境に配慮した設計･施工の提案推進

（７）クリーンな街づくりに貢献する活動推進

５．　環境関連法規等の遵守状況、訴訟等の有無　　７頁

６．　代表者による全体評価と見直し　　７頁

７．　次年度の環境経営計画　　７頁

１．環　境　経　営　方　針

当社は、福岡の地で昭和２１年創業以来、人と人の繋がりを大切にして成長してまいりました。建設業という事業活動を通して、地球環境の保全が21世紀を生きる人々の最重要課題の一つであることを認識し、ひとつでも多くの笑顔が次の世代に咲くように、環境経営の持続的改善を行いながら地域社会の一員として下記の環境保全活動を推進してまいります。

１．以下のとおり、環境に配慮した取り組みを行います。

（１）節電や省エネ等による二酸化炭素排出量の削減

（２）再利用や適正管理等による廃棄物排出量の削減

（３）節水等による水使用量の削減

（４）建設資機材や備品のグリーン購入の推進

（５）化学物質使用量の削減（適正管理）

（６）環境に配慮した設計･施工の提案推進

（7）クリーンな街づくりに貢献する活動推進

２．関係する環境関連法規を遵守します。

平成 26年　4月　1日　制定
令和　2年１2月１5日　改定

株式会社 阿部工務店

代表取締役社長　阿部 晋士

2.　組織概要

（1）事　業　所　名　　株式会社 阿部工務店

（2）代　表　者　名　　代表取締役社長　阿部 晋士

（3）所　　在　　地　　〒812-0065　福岡市東区二又瀬新町１４番１８号

（4）環境管理責任者　　開発営業本部：島　鉄平

連　　絡　　先　　ＴＥＬ：０９２‐６２１‐２０９２
ＦＡＸ：０９２‐６２１‐４７５６
Email：t-shima@abe-const.co.jp

（5）Ｕ　　Ｒ　　Ｌ　　http://www.abe-const.co.jp

（6）事 業 の 内 容　　総合建設業（設計・監理・施工）

宅地建物取引業（土地活用のコンサルタント）

（7）対　象　活　動　　建築工事業、大工工事業、電気工事業、管工事業、解体工事業

一級建築士事務所

宅地建物取引業

（8）許　可　番　号　　建設業許可：福岡県知事許可(特-３)第１０５２号

一級建築士事務所許可：福岡県知事登録番号 第１-１０７８４号

宅地建物取引業/福岡県知事免許(１３)第４４４３号

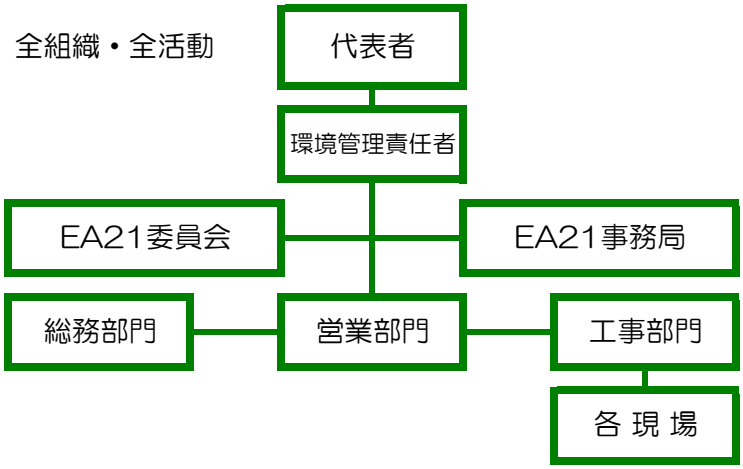
（9）創　　業　　昭和２１年０１月０１日

（10）事 業 の 規 模　　完成工事高(R05.10～R06.09)：５８６百万円

従業員数：１４名

（11）事　業　年　度　　１０月～翌年０９月

（12）対　象　範　囲（認証・登録範囲）　　全組織・全活動



３．環境目標と実績

（１）環境目標　　R05.10～R06.09

			区分	単位	基準年（令和05年度）H04.10から R05.09まで	令和6年度目標 1%削減/年 R05.10から R06.09まで	令和8年度目標 R07.10から R08.09まで	令和10年度目標 R09.10から R10.09まで
1	二酸化炭素排出量の削減（削減率1%/年）（軽油、灯油由来の数値を含む）		全社	kg-CO2	46,539	-	-	-
			事務所	kg-CO2	24,256	24,014	23,528	23,043
			現場	kg-CO_2	22,282	環境活動計画の内可能な取組みの実施		
	(1)	電気使用量の削減（削減率1%/年）	事務所	kg-CO_2	12,536	12,411	12,160	11,909
			現場	kg-CO_2	4,876	環境活動計画の内可能な取組みの実施		
	(2)	ガソリン使用量の削減（削減率1%/年）	事務所	kg-CO_2	10,977	10,867	10,648	10,428
			現場	kg-CO_2	15,628	環境活動計画の内可能な取組みの実施		
2	廃棄物排出量の削減		全社	-	334.09	-	-	-
	(1)	一般廃棄物排出量の削減	事務所	t	1.01	1.01	1.01	1.01
	(2)	産業廃棄物排出量の把握･適正管理	現場	ﾘｻｲｸﾙ率	100.00	100.00	100.00	100.00
3	水使用量の削減（削減率1%/年）		事務所	m^3	120.00	118.80	116.40	114.00
	水使用量の削減		現場	m^3	204.50	環境活動計画の内可能な取組みの実施		
4	化学物質の適正管理		現場	-	数値目標は掲げないが、一定規模以上の工事についてはSDSを確認			
5	グリーン購入の推進		全社	購入率	100.00	100	100	100
6	環境に配慮した設計･施工の提案推進		全社	件	18.00	12	12	12
7	クリーンな街づくりに貢献する活動推進		事務所	件	12	12	12	12

備考）二酸化炭素排出量削減において、購入電力の排出係数は、0.371kg-CO_2/kWh（2019年度九州電力調整後排出係数）を使用しました。

（2）環境実績　R05.10～R06.09

			区分	単位	基準年 H04.10～R05.09 (実績値)	運用期間 R05.10～R06.09 (目標) 1%削減/年	(実績)	達成率	評価
1	二酸化炭素排出量の削減 (削減率1%/年) (軽油、灯油由来の数値を含む)		全社	kg-CO2	46,539	-	55,584	-	-
			事務所	kg-CO2	24,256	24,014	24,208	99%	×
			現場	kg-CO_2	22,282	-	31,377	-	-
	(1)	電気使用量の削減 (削減率1%/年)	事務所	kg-CO_2	12,536	12,411	12,544	99%	×
			現場	kg-CO_2	4,876	-	7,748	-	-
	(2)	ガソリン使用量の削減 (削減率1%/年)	事務所	kg-CO_2	10,977	10,867	10,922	99%	×
			現場	kg-CO_2	15,628	-	14,315	-	-
2	廃棄物排出量の削減		全社	-	334.09	-	-	-	-
	(1)	一般廃棄物排出量の削減	事務所	t	1.01	1.01	1.01	100%	○
	(2)	産業廃棄物排出量の把握･適正管理	現場	ﾘｻｲｸﾙ率	100.00	100.00	100.00	100%	○
3	水使用量の削減 (削減率1%/年)		事務所	m^3	120.00	118.80	114.00	104%	○
			現場	m^3	204.50	-	300.00	-	-
4	化学物質の適正管理		現場	-	数値目標は掲げないが、一定規模以上の工事についてはSDSを確認			-	-
5	グリーン購入の推進		全社	購入率	100.00	100	100	100%	○
6	環境に配慮した設計･施工の提案推進		全社	件	18.00	12	31	258%	○
7	クリーンな街づくりに貢献する活動推進		事務所	件	12	12	12	100%	○

備考）二酸化炭素排出量削減において、購入電力の排出係数は、0.371kg-CO2/kWh(2019年度九州電力調整後排出係数)を使用しました。

達成率は、1～3では（2－実績値/目標値）で計算し、5～7では、（実績値/目標値）で計算しています。

４．活動内容と結果、評価

１．　二酸化炭素排出量の削減

目　標	取組活動	結果	評　　価
電気使用量の削減	春秋は空調をOFFにして外気取入れ推進	○	熱中症対策とうまく付き合いながらも電気使用量の削減を呼びかける
	昼休みの消灯運動	○	
	使用していない部屋の照明と空調の電源OFF	○	
	１８時以降の自動ドア電源OFF	○	
	残業時間の縮小を推進	○	
ガソリン使用量の削減	急発進、急加速、急ブレーキの低減	○	アイドリングストップをすることでｶﾞﾘﾝ使用量の低減を計りたい
	公共交通機関を利用しての通勤を推進	○	
	タイヤ空気圧の定期的確認	○	
	ﾒｰﾙでの文書やり取りやｵﾝﾗｲﾝ打合せの推進	○	

２．　廃棄物排出量の削減

目　標	取組活動	結果	評　　価
一般廃棄物排出量の削減	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰ利用による会議資料の低減	○	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰを有効活用し会議を行うことができた
	社内LANの活用による印刷物の低減	○	
	燃えるごみと古紙の分別	○	
	ペットボトルの本体、蓋、ラベルの分別	○	
産業廃棄物排出量の把握･適正管理	マニフェストによる適正管理	○	関係法令の順守を継続する
	廃棄物処理業者への適正な委託契約	○	
	無駄な資機材購入の削減	○	
	混合廃棄物の分別推進	○	

３．　水使用量の削減

目　標	取組活動	結果	評　　価
事務所の水使用量の削減	センサー式水栓の積極利用	○	ｽﾄｯﾊﾟｰ付き散水ﾎｰｽの交換を行った。継続して適正使用を行う
	水漏れ点検	○	
	散水ホースの先にストッパーを取付け	○	
	植込の水やりや散水は再生水を積極利用	○	

４．　化学物質使用量の適正管理

目　標	取組活動	結果	評　　価
化学物質の適正管理	5000万円以上の工事はSDSを把握	○	対象物質の少ない材料選定ができた
	PRTR制度対象物質の少ない材料を使用推奨	○	

５．　グリーン購入の推進

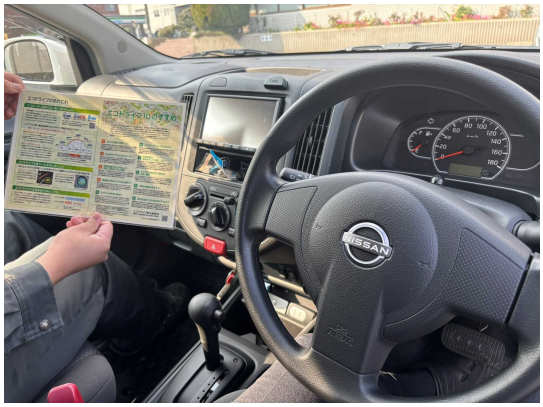
目　標	取組活動	結果	評　　価
再生資源の調達率の向上	文房具購入時にエコマーク製品を選定推奨	○	継続して再生資源の調達推進を行う
	衝動買いの抑制	○	
	建設資材や備品のグリーン購入推進	○	

６．　環境に配慮した設計･施工の提案推進

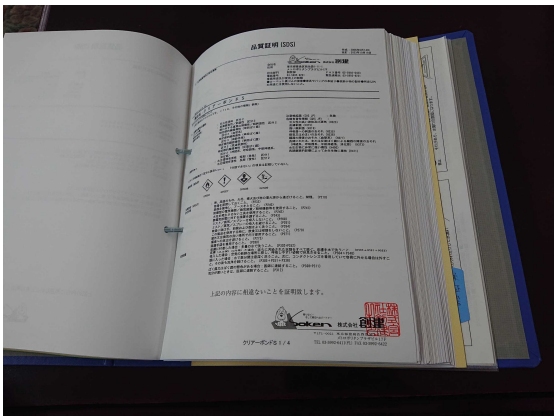
目　標	活動項目	結果	評　　価
環境に配慮した設計･施工の提案推進	環境に配慮した設計･施工の調査･提案	○	再生砕石の積極利用ができた

７．　クリーンな街づくりに貢献する活動推進

目　標	活動項目	結果	評　　価
地域環境保全	事務所入口の緑化維持推進	○	それぞれの活動を継続して行う。
	現場前面道路の清掃活動	○	



ガソリン使用量の削減

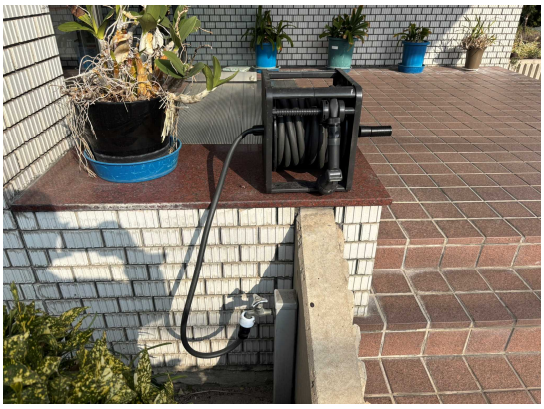


産業廃棄物排出量の把握・適正管理

地域環境保全

事務所の水使用量の削減

地域環境保全



事務所の水使用量の削減

５．　環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

・当社の事業活動において法的義務を受ける主な環境関連法規は次のとおりです。
・令和６年１月に下記法規の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。
・また、３年間関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

適用される法規制等	適用される事項
廃棄物処理法	廃棄物の適正処理、管理票交付状況の確認、報告
下水道法	建設現場排出水の適正管理、報告
消防法	消火設備等の点検
労働安全衛生法	建設現場労働者の健康診断受診
自動車リサイクル法	社用車の適正管理
フロン排出抑制法	業務用冷凍空調機器の適正管理
家電リサイクル法	特定家庭用機器の適正管理
小型家電リサイクル法	小型電子機器等の適正管理
建設リサイクル法	一定規模以上の工事の届出
建築基準法	石綿等の適正管理
石綿規則	石綿含有建材撤去時の適正処置
ラージリサイクル法	再生資源利用の促進、記録
騒音規制法	コンプレッサー、削岩機、鋲打ち機の適正管理、届出
振動規制法	杭打機、ブレーカー、舗装版破砕機の適正管理、届出

６．　代表者による全体評価と見直し

今夏の異常な猛暑により電気使用量やガソリン使用量が基準年を超え、僅かではあるものの目標を達成することができなかった。近年の異常気象とうまく共存できるよう模索しながらこれからも環境活動を推進する。

７．　次年度の環境経営計画

環境活動計画は８ページのとおりとする。
環境経営目標は９ページのとおりとする。

R07年度の環境活動計画

1．　二酸化炭素排出量の削減

目　標	取組活動
電気使用量の削減	春秋は空調をOFFにして外気取入れ推進
	昼休みの消灯運動
	使用していない部屋の照明と空調の電源OFF
	１８時以降の自動ドア電源OFF
	残業時間の縮小を推進
ガソリン使用量の削減	急発進、急加速、急ブレーキの低減
	公共交通機関を利用しての通勤を推進
	タイヤ空気圧の定期的確認
	ﾒｰﾙでの文書やり取りやｵﾝﾗｲﾝ打合せの推進

2．　廃棄物排出量の削減

目　標	取組活動
一般廃棄物排出量の削減	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰ利用による会議資料の低減
	社内LANの活用による印刷物の低減
	燃えるごみと古紙の分別
	ペットボトルの本体、蓋、ラベルの分別
産業廃棄物排出量の把握･適正管理	マニフェストによる適正管理
	廃棄物処理業者への適正な委託契約
	無駄な資機材購入の削減
	混合廃棄物の分別推進

3．　水使用量の削減

目　標	取組活動
事務所の水使用量の削減	センサー式水栓の積極利用
	水漏れ点検
	散水ホースの先にストッパーを取付け
	植込の水やりや散水は再生水を積極利用

4．　化学物質使用量の適正管理

目　標	取組活動
化学物質の適正管理	5000万円以上の工事はSDSを把握
	PRTR制度対象物質の少ない材料を使用推奨

5．　グリーン購入の推進

目　標	取組活動
再生資源の調達率の向上	文房具購入時にエコマーク製品を選定推奨
	衝動買いの抑制
	建設資材や備品のグリーン購入推進

6．　環境に配慮した設計･施工の提案推進

目　標	活動項目
環境に配慮した設計･施工の提案推進	環境に配慮した設計･施工の調査･提案

7．　クリーンな街づくりに貢献する活動推進

目　標	活動項目
地域環境保全	事務所入口の緑化維持推進
	現場前面道路の清掃活動

R07年度の環境目標

環境目標			区分	単位	基準年 H04.10～R05.09 （実績値）	令和7年度目標 R06.10～R07.09 （目標値）
1	二酸化炭素排出量の削減 (削減率1%/年) (軽油、灯油由来の数値を含む)		全社	kg-CO2	46,539.56	-
			事務所	kg-CO2	24,256.60	23,771.47
			現場	kg-CO_2	22,282.95	環境活動計画の内可能な取組みの実施
	(1)	電気使用量の削減 (削減率1%/年)	事務所	kg-CO_2	12,536.83	12,286.09
			現場	kg-CO_2	4,876.42	環境活動計画の内可能な取組みの実施
	(2)	ガソリン使用量の削減 (削減率1%/年)	事務所	kg-CO_2	10,977.75	10,758.20
			現場	kg-CO_2	15,628.91	環境活動計画の内可能な取組みの実施
2	廃棄物排出量の削減		全社	-	334.09	-
	(1)	一般廃棄物排出量の削減	事務所	t	1.01	1.01
	(2)	産業廃棄物排出量の把握･適正管理	現場	ﾘｻｲｸﾙ率	100.00	100.00
3	水使用量の削減(削減率1%/年)		事務所	m^3	120.00	117.60
	水使用量の削減		現場	m^3	204.50	環境活動計画の内可能な取組みの実施
4	化学物質の適正管理		現場	kg	188.93	数値目標は掲げないが、一定規模以上の工事についてはSDSにて確認
5	グリーン購入の推進		全社	購入率	100.00	100.00
6	環境に配慮した設計･施工の提案推進		全社	件	18.00	12.00
7	クリーンな街づくりに貢献する活動推進		全社	回	12.00	12.00

備考）二酸化炭素排出量削減において、購入電力の排出係数は、0.371kg-CO2/kWh(2019年度九州電力調整後排出係数)を使用しました。